

人

二一八

緊 急

受信一九二〇 譯丁一九四八 電〇八七一

作 概



- 第三根コレヒドル派遣隊
- 第三兩遣艦隊戸。？

機密第一七一四三五番電

發 振武集團長

數日ニ亘リ敵ノ猛砲撃ニ耐ヘ敵艦ヲ撃沈スル等敢闘之ニ努メ敵ノ「マ
 ニラ」進入阻止更ニ又昨日以來上陸シ來ル敵ト陸戦撃碎過進ヒラレ
 ル貴指揮官以下將兵一同ノ奮闘ニ感謝ス。

通一〇〇一〇 於一四（一〇一七〇）五分 特 富田（太 田）

20. 2. 19

人

142

二一七

受信
開始
〇〇三〇〇三

譯了
〇一〇〇

電
〇八二三九

作
概

緊
急

第五基地航空部隊戰機着信艦所

ラブアン航空基地

機密第一七一七七番電

20. 2. 18

攻撃二五二飛行隊派遣隊戰機着信艦所（二月十七日）

一、バラバツク海峡哨戒ノ爲天〇七三〇發進一〇二〇歸着異狀ナ

シ一機一五三五發進離陸直後後列三番シリンダー接合棒折損不時着

大破搭乗員一名微傷外異狀ナシ哨戒ヲ取止ム

二〇五〇五B一二四一機來襲〇五二五投彈被害ナシ一〇二五B一

四一六機針路西南西通過

三、明日ノ實動ハ保有一機數組數三（四一四一五）。

通九四四二一〇一Bヲ十八（四五七二・五RC）高放 大石（鈴三）

A

作戰緊急

二一八 受信 一三三六 譯了 一六〇〇 電〇八六三五 作 概
始 一四一〇

第三十三根



第三十三根戰闘概報着信艦所

機密第一七一八一〇番電

第三十三特別根據地隊戰闘概報第一二七號

「セナ」島〇八〇五ヨリ一七五六迄單發二十機 P 三八 三機

爆撃機一機 四發四機飛來偵察ヲ主トシテ攻撃セズ

三一〇敵驅逐艦二隻「ズマンヤク」ヲ砲撃一二四〇「タノ」

海峽ヲ北行セリ。

通九八〇九 呂一Bラ十八(一一三四七五KC) 五FGBP放

山崎(小野田)

20. 2. 19

二 一八

受信 〇〇九一〇
譯始 〇九四五

譯了 一〇五〇 電 〇八五一四

作 航本 〇
部 〇

緊急

小 崗 司 令 部



一聯合基地航空部隊各戸
ツゲガラオ空基地・六艦隊戸

機密第一七一八二九番電

發 第一航空艦隊參謀

宛 「バドリナオ」基地指揮官

通報 「ツゲガラオ」基地指揮官 第六艦隊參謀

貴機密第一七〇九四一番電開聯

呂 第一一二潛水艦呂號第一一二三潛水艦ハ夫々九日及十日高雄發十二

日及十四日「バドリナオ」着ノ豫定ニテ行動セリ

呂號第一一五潛水艦ハ未ダ作戦海面ヨリ高雄ニ歸投セ 輸送ニ着手シ

アラズ。

九六七六 呂一〇（四七四二、五）五基空戸

深 本（吉 田）

20. 2. 19



緊急

二一七 受信二二四〇 八譯了 一一三〇 電〇八四四〇
 一八 譯始 一一一〇 作 艦
 潛

小崗山司令部

バタリナオ基地

ガタオ航空基地。六艦隊

機密第一七一八二九番電

發 一A F 參謀

宛 「バタリナオ」基地指揮官

通報 「ツゲガラオ」基地指揮官・第六艦隊參謀

書機密第一七〇一〇〇番電關聯

呂號第一一二潜水艦呂號第一一三潜水艦昭平丸九二日一及十日高雄發十二
 日及十四日「バタリナオ」着ノ豫定ニテ行動セリ 部隊指揮官ハ未ダ作
 戦海面ヨリ高雄ニ歸投セズ輸送ニ着手セシメラルル豫定。

通九四一二 呂二Bラ十八(四七〇五KG)高 通 福田(増田)

20. 2. 19

人

作野緊急

二一八

受信一〇五

了一二五〇

電〇八五二七

作機

三

三

三

根

△



三

三

根

機

密

第一

七

一

八

三

〇

番

電

機密第一七一八三〇番電



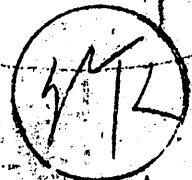
一、一七五〇八〇五ヨリ一七五六迄單發二〇P一三八三双發一

四發四飛機偵察中主トシテ攻撃セズ戰車ナシ

二、一〇二〇敵艦逐逐二一ズマゲテ一四四五「ルノ」海峽。

通九六九四 呂一 五十八八一三二二〇〇（高瀬 田中（五真）

20. 2. 19



至急

三八

受信〇九〇〇
開始一三一五

了〇九〇〇 電〇九九一〇

参作
本概

二六 航 戦

クラーク防備部隊戦闘概報着信艦所

機密第一十一九一二番電

K B E 戦闘概報第二〇號 (二月十七日)

一戦線特ニ變化ナシ

二敵砲兵(一五榴)ハ「ストツチエンバーク」方面約一〇門雷山北

方ノ山ニ對門)戰車約二〇輛(毎日複廓障地前面ニ現ハレルモノ

〇數輛)ニシテ兩者ニ依ル砲撃相當熾烈前面兵力ハ一個師團程度ト

認ム

三十五日夜新込肉攻中人員約二十名殺傷トラツク一破壊其ノ他歩兵砲

迫撃砲ニ依リ相當ノ戰果ヲ收メツツアリ

通九六十七 呂一Bラ十八(九一四五、〇E)高通放

村尾(久保田)(一)

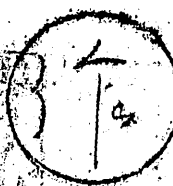
四(1) 上空通過制壓機七機 (内 P-1 四機、一八 B-1 二機、三機複廓陣地)

銃爆一部、落下傘爆彈

(4) 輸送機發着二〇機

〔東通註〕 本電再送ノ爲遅延

作戰緊急



二一八

受信 〇〇二二八

譯了 〇三三五 電 〇八三二九

作 電 〇

三十一通分還隊

南西方面部隊情報着信機所。第五基地航空隊。先遣隊

機密第一七一九四五番

發 南西方面艦隊參謀長

リంగాエン灣敵艦船速報 (十七日一五〇〇)

〇三D五T七五油槽船二特殊艦一上陸用舟艇一五小艦艇六帆船二

一

通九五六三 才一四 (期五七三、五K〇、高放

山本 (庵 原)

人

17

二一八 受信 〇〇 〇〇 三五八 譯了 〇一〇五 電 〇八二四九 作 概

緊急 第五基地航空部隊戰機着信艦所 ダバオ第一空基地

機密第一七一九五三番電

月三A B 戰艦概報(十七日)

一、一二一三一 一三三五 B 一、二四 二〇機來 二次ニ耳リラサン飛行場

北東方三杆附近陣地爆撃 一四四〇一 一五一六 P 一三八 三機來襲 第一

一、第二基地爆撃

三戰果

B 1 二四 一機墜撃(陸軍地上砲火)

被害ナシ

三、實動機ナシ。

通九四五七 ロ一B ラ十八(三七八二五 KC) 五 F G B

高田(鈴 三一)

20. 2. 18

受信
○○
五五
三〇
五七

丁巳年

卷八三六二

作
者

二六根

一六根 毘摩 檉 著信 經所 • 三南 遺經 隊各尸△

樓 第 一 七 二 〇 一 一 番 號

六
K
B
戰
摩
檣
報
十
七
日

下
八〇〇
八〇〇
一〇〇
迄
B
S
二
四
ワ
シ
レ
地
區
特
別
一
六
一
〇
月

六五〇迄望發動機二カウ・ドニンガ地區銃擊〇八四五スピットハ

[illegible]

察戰果ナシ
檢査大發一
隻沈沒一損
傷修理可能

二、艦艇狀況タルバ入港願逐艦一其ノ他通信連絡不良ノ爲不明

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

通九六〇七

四二五十八(六一三二、五〇)一一通、山内(松井)

人

緊急

二一九
受信
〇〇三八
〇〇五八

了 〇二五〇
電 〇八八五五

作概
本〇

第三南遣艦隊第一一移動通信隊



第三十一根

機密第一七二〇五七番電

發 シン 武 集 團 長

十八日夜ヨリ船中工兵及集團衛生サク
中艇ニ依リ「アンチボロ」「ボソボソ」方面ニ收容「バシツク」以
南ニテ連絡シウル如ク準備ヲラレ度。

通一〇一六三 於十四(四五七二五)KC(高二放 山本(小 野 田

275

20. 2. 19

冬 (M.M. 方)

二 一八

受信
開始 〇〇 二五 四

譯了 〇三二〇 電 〇八三二一 作 機

作機緊急

長		春	
A	南	K	?
B	西	I	?
E	方	C	
J	面	P	
G	除	州	
F	島	D	伊

機密第一七二一〇〇番電

基地

二 〇 四 潜

本職十七日〇二四七地點ツウノ四五ニ於テ北上中ノ敵大部隊ヲ襲撃大型
空母（レキシストン型又ハエセツクス型）一隻一本命中 大型巡洋艦一

本命中 驅逐艦一 一本命中音推進器音 水音ヨリ判断何レモ撃沈確實
ト認ム 我被害ナシ 詳細後電ス 殘存雷數四本。

（東通註 本電誤字多シ）

通九五五八

オ一四（B）横通

宮崎（川口）

二 一八

受信一二二六
譯始一三〇九

譯了一三四五

電〇八五六〇

作

概

緊急



●

三特根戰概着信監所

●

一二二、二三、一六各特別根據地隊

機密第一八〇八四七番電

三二KB戰國概報第七一號（二月十七日）

タバオ方面一二一〇一—三二五B—二四延二六機東方ヨリ來襲ラサン

基地附近投彈東ニ去ル

戰果墜一被害陸軍兵舎二棟炎上戰死五輕傷三、一四四〇一—一五〇〇

P—三八 三南東ヨリ來襲第一基地滑走路東側及ツバラン岬沖海上

彈小型三發南ニ去ル戰果被害ナシ、

277

通九七四一 呂一B（一五七二〇KC）三二通

吉田（吉田）

1960

人

作戰緊急

二 一八

受信一六〇〇三
開始一六〇〇三

譯了一六一三 電〇八六四六 作概〇

三 一通五分遣隊

作

南西方面部隊情報着信艦所・五基地航空部隊

機密 第一八一一二五番電

發 南西方面艦隊參謀長

十八日〇八五〇リシガエニ灣艦船狀況

〇三〇五ア及ア(油)一一二上陸用舟艇大型二八小型一六計一六四

(新船團今朝入泊)。

通九八九七 才一四(一一三四七五) KC(五FGFP 宮崎(細川)

2. 19

緊急

二二二
 受信 一二〇五 譯了 一三四五 電 〇一六二 作 概
 始 一二五〇



● 南西方面艦隊P・九五五空（三十一根）

● ポートプリンセサ水上基地

機密第一八一三二〇番電 二分ノ一

20. 2. 22

發 第九五五海軍航空隊ポートプリンセサ派遣隊指揮官

一十七日盤詰セルB―二四ヨリノ押收資料暗號書（哨戒用編頁二六頁

一）天測表三冊（緯度二五―三四及五〇―五四）帝國艦船識別表（昨

年六月刊行）航空圖其ノ他搭乗員參考資料若干ノ

使用基地サンホセ（主用）方面タクロバン經由發進ボルネオ北西岸

（クチン北方迄）カムラン灣方面沿岸哨戒・

（電信課註 本電二分ノ二既配布）

通 一一四二五 呂一〇ラ十八（九一四五KO）高二放 飯島（小川）

受
信
〇〇
二〇
〇五
〇〇

譯了〇二三〇 電〇八八六〇 作

概

[illegible]

五五空（三一）根

機密第一八二〇番電

二分

菲島東岸夜間哨戒搭乘員老年者多也

二敵ハ二月一日以降連日偵察及銃爆

五
B
I
—
四

〇八〇一七〇〇延十萬

十戰機綜合戰果圖	乃至戰機綜合戰果圖	千實機主用機種 P I 三八 B I 二	施
----------	-----------	----------------------	---

機
B
I
二
四

一
卷
B
I
二
五

一機擊破計三機被害戰死一（菲島空）

其
他
輕
微

電信課註 本電二分、一未着

通
一
〇
二
五

呂一B号十八(四五七二、五五〇〇)高二放

山崎 楠

二一九

受信
譯始〇〇五二〇〇

譯了〇六三〇 電〇八九二四

航作
概本〇

緊 急



五基地航空部隊戦闘概報着信艦所

機密第一八一四五七番電

ラフアン戦闘概報（十八日）

一五〇B一二四、三四機來襲一二〇五迄飛行場附近

一被害滑走路被弾八〇（七〇〇×四〇使用可能）誘導路被弾三〇・K

二五二天山一機炎上一機小破指揮官、野中尉輕傷・格納庫大破

ニ戦果ナシ。

通一〇下九九 呂一Bラ一八（B）GFP 富田（小澤）

20. 2. 19

参

二一九

受信
開始〇〇五二五

譯了〇九三〇

電〇八九六八

作概〇

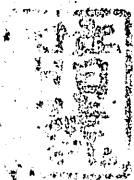
作戰特別緊急

停

④
フイン第二飛行場へトリポイン

④
バラレ航空基地

機密第一八一六一五番電



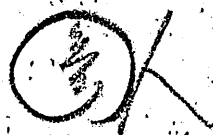
敵ハ南門内ニ逐次勢力増シツツアリ現在戦車三装甲車二歩兵約五〇〇名以上我弾藥殆ドツク。

《東通註 本電受信不完全誤字多ク同文ニテ翻譯ス》

通一〇二二一
オ一四(三七八二、五KC) 五FAB放

宮崎(岩崎)

20. 2. 20



緊急

二二〇 受信〇〇七六二二 譯了〇八三〇 電〇九四三六 作 概



三三根戰艦概報着信艦所

機密第一八一九二〇番電



二十三特根戰艦概報 第一二八號

セブ島一三三七ヨリ一四四三迄 P1三八 三 四〇一 二

B1二五 二 飛來戰果被害ナシ

十七日一四〇〇一シブランチ砲撃セル敵艦逐艦ニテ遊撃ノ爲

七八號七九號甲標的ツマゲテ出撃タノン海峡南口附近チ哨戒一

八〇〇同地歸着敵ヲ見ズ七八號八四號甲標的ツマゲテ港外哨戒

一八〇〇同地歸着異狀ナシ

三十七日一二三〇スリガオニ爆撃機來襲銃撃戰果被害ナシ

通一〇七七七 呂一Bラ一八(四七七四)五KC(五九九B) 片山(小幡)

20. 2. 20

作戰緊急

二一九

受信二二二三五〇

譯了

一〇五〇

電

一〇〇四七七

作概〇



三南遣艦隊第一一移動通信隊

聯合艦隊口・大海參一部・南西方面艦隊口

機密第一八一九四一番電 二分ノ二二

20. 2

File No. 4
P737 (北木氏)
他の資料と
つな合ハシメ
本電の?は
と解後あり
昭和16年11月
昭和16年11月
昭和16年11月
昭和16年11月

問題ハ大局ニ鑑ミ據點ノ持久ニ依ル何レガ敵ニ多クノ損害ヲ與ヘ得ルカ

ノ二點ニ在リ元來ノ強味ハ固定的陣地ニテ攻撃開始ニ在リ一旦出撃ヲ企
圖シ計畫樹テタルトコロ到底夜中ニ市外迄突破ハ六ヶ敷ク全滅ハ火ヲ見

ルヨリモ明ナリ此ノ儘籠城セバ後一週間ハ持得ベク之ヲ移動セバ微力ト
ナルヲ以テ極一限直テ持耐ヘ最後ニ總員必死必殺一人一殺ニテ可ナリ突

撃實施可然ト思考致シ種々御高配辱ナキモ主作戰指導上ニ考慮セラ
ルコトナクヲ進メラレ度ク只敵ノ戰車ヲ制壓下サレバ結構ナリ。

〔東通註〕

本電誤字極メテ多シ

通一〇〇五五九八一

呂一Bラ十八

(七八〇八五五KOKO)

廿二通

漆原 (松山)

緊急

二一九

受信〇四〇〇
譯始〇四三五

譯了〇四五九

電〇八八八五

作 磯

第二鈴鹿空基地

五基地航空部隊戦闘概報着信艦所

機密第一八二〇一二番電

H二AB戦闘概報第五三號(二月十八日)

一、零夜戦一機「オルモツク」方面索敵攻撃一九一〇機橋索留中ノ大發
十隻ヲ銃爆撃一隻撃沈其ノ他敵艦船ヲ認メズ

二、明日實動零戦一機。

夜

通一〇一九二 呂一Bヲ十八(四五七二五B)高二放 山本(杉本)

20. 2. 19

緊急

二
一九八 受信二二三〇 電〇八八三八 作 概
開始〇一五五〇

⑤ ダバオ第一航空基地

五基地航空部隊戦闘概報着信艦所

機密第一八二〇一五番電

B三A B戦闘概報第一三六號十八日

一〇八四五I〇九〇五PI三八 七〇機〇九一〇I一〇〇五F四U

五〇機三隊ニ分レテ逐次「ラサン」來襲飛行場附近陣地ニ投彈一

〇三〇I一〇五〇小型機二機「ラサン」ノ東山麓ニ投彈B一二四

二機北上一五〇五一五三五F四U一三機來襲「ラサン」橋附

近ニ投彈

戦果被害ナシ

一〇〇八八 呂ニビラ十八(七八五五五五)三二通

川崎(塩田)

(1)

三本日小數機ノ小型機ヲ以テ來襲シ大型機ノ十八日「ラザン」地區
陣地附近ニ攻撃ヲ集中シタルハ特異ノ現象ニシテ戰況ニ依リ概ネ
レイテ方面ヨリ飛來同方面歸投シタルモノト判斷セラル
四實動機數天山一零戦一。

聯合艦隊司令部

卷一 九

本
機
密
一
種

[illegible]

十七日〇一三〇集團音聽知夜間滑望鏡露出ノ艦接敵〇二四〇大型空母
及大型巡洋艦（艦型不詳）ヲ發見〇二四七空母大巡ヲ繼テ重テ照準
全射線發射一、五分一分三四秒二分二七秒二分五五秒ニ魚雷命中音各
一發一分四〇秒大爆發音二回命中直後集團音全ク消滅連續擬襲音ヲキ
ク發射直前直上ヲ通過セシ艦逐艦ハ反轉セルモ間モナク停止救難作業
ヲ行フモノノ如ク攻撃ヲ受ケズ其ノ艦西方ニ避退二〇〇〇浮上前電
成果ヲ收メシモノト認ム。（東通註 本電誤字極メテ多シ）
通一〇一八四 於一四（ B ）吳通 清水（杉本）



人

二二〇

受信〇二〇〇
譯始〇二二五

譯了〇三五五

電〇九四〇六

作概

緊急

大海參一部・聯合艦隊中

三南遣艦隊中

三一通五分遣隊



機密第一九一一三〇番電

20. 2. 20

發 第三南遣艦隊參謀長

第三南遣艦隊並ニ麾下各根據地隊所屬ニシテ現ニ擔任海域ニ在ル左ノ艦艇ハ他部隊ニ轉用差支ナシ（艦名。現所在配屬部隊）

一 第三十一號驅潛艇。一〇三號哨戒艇 一 E F ニ協力中北菲部隊

二 第二十六號驅潛艇第六十號驅潛艇內地第一輸送戰隊

三 第十九號驅潛艇第二十一號驅潛艇 一 E F ニ協力中

四 下松丸香港南菲部隊

通一〇七一九 呂一 B ラ十八（四五七二五 K）高放 田中（杉本）（一）

- 五 第十一昭南丸佐世保 一五二協力中
- 六 第十八日東丸・第七號掃海特務艇西貢北非部隊
- 七 第二十一號掃海艇內地支那方面艦隊二協力中
- 八 八代丸瑞鳳丸基隆南非部隊
- 九 第二十四號驅潛特務艇基隆北非部隊
- 一〇 第二十號驅潛艇第三十三號驅潛艇第十七日東丸昭南方面北非部隊
- 一一 第七京丸十勝丸昭南方面南非部隊。

考人

緊急

二一九 受信一九四〇 譯了二〇一〇 電〇九二三〇 作概
譯始一九二〇

● 三二特根戰團概報着信艦所

● 二二特根P・二三特根P・二六特根P

機密第一九一六五八番電

三二警備隊戰團概報第四四號 (二月十八日)

マダバオ方面〇八四〇一〇三〇F四U一 五三ラサン基地附

近急降下爆撃同海岸民家銃撃P一三八上空偵察B一四 四通過

一〇五〇一 一二二〇F四F四 二サマル東岸執拗ニ偵察銃撃一

五一〇一 一五四〇F四U一 一三ラサン方面低空銃撃一

二〇一 一六四〇西、南東通過來襲敵機合計八一機

通一〇五〇八 呂一Bラ十八(一五七一〇KC)三二通 村尾(標澤)

20. 2. 20

戦果ナシ被害輕微本日午前ハNヨリ午後ハE I S Eヨリ多數F四U

一、來襲セルハ極メテ特異ナル情況ナリ

ニサランガニ方面〇九五八P I三八 三機ニ依ル偵察其ノ他P I三八

四機双發機一北進

ミザンボアンガ方面三三警備隊機密第一八一九四〇番電通

四三二警備隊戦闘概報第七一號（二月十七日）ヲ第四三號ニ訂正

緊急

二二〇

受信一六〇五

一七〇〇

電〇九七七〇九

作概



三一連第五分遣隊

機密第一九一七一五番電 三分ノ一、三

發 南西方面艦隊 福田參謀

宛 南西方面艦隊參謀長

通報 南西方面艦隊參謀副長

十八日「バタリナオ」着狀況左ノ通

「在」バタリナオ「海軍内地派遣員數一一名（整備關係員）糧食盡キタ

ルヲ以テ「ツゲガラオ」ニ引返ス豫定

三軍事所在兵

(イ) 首席阿部徳次郎（特務大尉）以下七名（機械工員八名）トラツク一

台糧食保有量一月半

連一〇九六四・一〇九七三 天一〇ラ一二（九一四五KC）高二枚 佐藤（福田）

(一)

290

20. 2. 21

三分ノ二未着

(二) 所在陸軍部隊整備隊一中隊六三名特別陸軍船舶工兵隊一五〇名大發
一四隻

三「バタリナオ」
民ナシ敵大型機高々度通過スルモ攻撃セズ
四「アバリ」ニハ海軍兵力無シ陸軍見張所アリ
五軍需部「アバリ」出張所ハ「ツゲガラオ」ニ移轉セリ。

(二)



人

作戰緊急

二一九 受信二二五〇 譯了二三三〇 電〇九二六七 作概〇
 譯始二三〇五

南西方面部隊情報着信艦所・五基地航空部隊

機密第一九一九〇八番電

發 南西方面艦隊參謀長

十九日午前リングエン敵艦船情況

C三 D八 T五八 上陸用舟艇二五 小艦艇五四 帆船二六 航空

機サンファピアン飛行場在地六〇リングエン（「以下脱作」）。

通一〇六六三 於十三（四五七二五KC）高放 中川（秋葉）

20. 2. 20

6260

緊急

二一九

受信開始〇〇一〇

譯了〇一二五

電〇九二九九

作

概

●

ダバオ第一航空基地

●

五基地航空部隊戦闘概報着信監所

●

作

機密第一九二一四九番電

H 三 A B

一〇九三〇一—一〇P—三八 三機來襲各基地偵察後P四U一六

機來襲「ラサン」ヨリ「テブニコ」ニ耳リ飛行場陸軍陣地等ニ投

彈一—二六一—二四〇B—二四 二五來襲ラサン飛行場爆撃一四—

五四—一五二五P—三八 四機各基地偵察

三戰果ナシ 被害天山一機小破（使用可能ノ見込）

通一〇六七三、呂一Bラ十八（七八五五K）三二通 谷島（様 澤）

20. 2. 20

三カガヤン基地〇八一〇F四U四機來襲兵舎並ニ飛行場ニ投彈〇九
 三〇P一三八一機北進一三四五F四U三機飛行場ニ投彈戰果被
 害ナシ

四明日實動零戰一機。

人

す

二二〇

受信開始 一四三〇〇

譯了一五一五 電〇九五五四

航作 概本〇

緊急



、五基地航空部隊戰圖概報着信處所

ラファアン航空基地

機密第一九二二〇三番電

ラファアン戰圖概報（十元日）

一一四〇B一四 三二機南西ニ退去 一二一〇B一四 一機飛行

場爆撃戦果被害ナシ。

20. 2. 21

293

通一〇九〇三

呂一Bラ十八（一二三）五五五（五）五五五（五）

原野（林部）



緊急

二二〇

受信〇〇四五六
譯始〇〇九五〇

譯了一〇二〇 電〇九四七八

作概〇
航本

ツゲガラオ航空基地

小岡山司令部・?

機密第一九二二五五番電

戦闘概報(二月十九日)

一〇七〇〇ヨリ一六〇〇迄P-I三八二 P-I四七三 P-I五一

二來襲戦果被害ナシ

三可動零戦一機。

〔東通註、本電誤作成ノ爲遅延〕

通一〇七四八 呂二Aラ十八(四五七二五KO)高二放

20. 2. 20

人

緊急

二二〇 受信一二四三 譯丁一五〇〇 電〇九五六六 作 概



三二根戦闘概報着信艦所
二二、二三、二六各根

機密第二〇〇七四四番電

三二特根戦闘概報第四五號（二月十九日）

一、ダバオ方面〇九二九P一三八 四機一〇〇〇P四〇三二機B一
四 二五機西行位ニ「サラン」橋附近「テブニコ」「バナカン」
ノ海岸附近銃爆撃B一二四ハ「ラサン」航空基地ノ東滑走路ニ小
型爆弾投下一四五二P一三八 四機北上戦果ナシ被害舊第百三工
作部家屋一棟半壊

ニ「サランガニ」方面〇八二五P一三八 三機ムソヒ東北方ヨリ侵
入ウラ偵察後北西ニ去ル其ノ他三機北上P一三八 四機南進。
通一〇八八七 呂一Bラ十八（一五七一〇KG）三二通

（山内 齋ひ）

20. 2. 21

人

緊急

二二〇

受信二二四〇
譯始二三一六

譯了二四〇〇 電〇九七五八 作

概

三十三根

三十三根戰團概報着信監所



機密第二〇〇八二五番電

第三十三特別根據地隊戰團概報一二九號（十九日）

セブ〇八二〇ヨリ一六三七迄單發動機九双發三P一三八 八 四發

二 大艇一機計二三機內單發三及P一三八 二機飛行場銃爆響

通一一一八二 呂一〇（四五七二、五KC）高二放 岡崎（雨谷）

20. 2. 21

二二〇

受領一七三〇五

開了一八一五

電〇九六二六〇

作概

緊

無

● 南西方面部隊情報着信處所

● 第三一通信隊第五分隊隊

機密第二〇〇九〇五番電 二分、十二

發 G K F 參謀長

「バギオ」敵機來襲狀況、十三日乃至十九日一

一出現敵機總數 三五九機、内通過機一二三機

二出現時刻 〇八〇〇、一七〇〇

爆撃時刻 〇九三〇、〇八〇〇、一一〇〇、黎明〇四〇〇、

〇八〇〇、〇六〇〇

薄暮來襲殆ど無し 夜間二〇〇〇、〇八〇〇、二四〇〇、深夜
來襲殆ど無し

通一〇九八八一〇一八 呂一五（九一四五K）高通

（一）

20. 2. 21

三、主ナル攻堅目標

人、車ヲ發見セバ無差別ニ徹底的攻堅ヲ實施、之ガ爲比島人ノ被害
少カラズ

又市内ノ主ナル建物ハ萬遍ナク攻堅ヲ受ケ病院、教會ハ殆ト全壊セ
リ、特ニ十七日ハ罹災比島人約三千名ノ集合シアリタル大教會二十
數發ノ爆彈ヲ投シ死者三十數名行衛不明多數ヲ出セリ

海軍關係病院殆ト全壊、運輸部全焼、其ノ他被害僅少ナリ

四、來襲機種（機數）

P-1三八（五七） P-1四〇（五〇） P-1四七（一二）

P-1五一（六）

SBD（二二七）

B-1二四（一七）。

二二〇
作戦緊急

受信
始一一四
五

譯了
一二三二

電〇九五
一三

作概〇
B 四

南西部隊情報着信艦所

機密第二〇〇九三〇番電

二十日〇七三〇敵魚雷艇四隻上陸用舟艇一三隻ビリ島（サンベルナルデイノ海峡）ニ上陸ヲ開始同島海軍派遣隊ハ暗號書ヲ焼却ス「皇室ノ御繁榮ト國家ノ興隆ヲイノル全員死力ヲ盡ス」トノ電報アリ。

通一〇八八三 於二三（九一四五）高遙放 牛宮王（河田）

20. 2. 21

傍

作戰緊急

二二〇

受信一七二五
譯始一七二五

譯了一八一〇 電〇九六三六 作 概〇

三五警・三三根サンベルナルジノ派遣隊
聯合艦隊口・三一 根

機密第二〇〇九五〇番電

今夜大敵ノ來襲ヲ聞ク隊員一同勇戰奮闘一人百敵ヲホウリ最後ヲ全ク
ランコトヲ望ム(三五警ハ「ビリ」島ニ傳ヘ)

通一一〇二二 天一Bラ十二(九一四五KC) 小野(木下)

20. 2. 21

二二一
緊急

受信
開始 〇〇二〇〇四

譯了 〇四二〇

電 〇〇九八六八七

作概 〇

傍

●

「バタリナオ」基地・?
ツダガラオ航空基地

機密第二〇一一三二番電

其ノ一、二

發 G K F 參謀長

宛 G K F 福田參謀

通報 G K F 參謀副長美濃部大佐

「バタリナオ」機密第一九一六八八番電關聯

美濃部部隊「アバリ」增強部隊の配備ニ關シテハ G K F 機密第一〇

一一〇三番電(要旨陸軍ハ陣地ヲ「ロラ」方面ニ配備シアルモ揚陸地

及「アバリ」「タリナオ」確保ノ方針ナリ海軍トシテハ概令通「アバ

リ」方面ニ進出現地狀況ニ依リテハ一時「ラロ」方面ニ滞在所要ニ應

通一一二二二 天一ヨラ十二(四五七二、五五〇)高二放
岩田村(小澤)(一)

20. 2. 21

シ進出任務遂行セラル差支ナキ意向ナリ該方針ヲ通シ處置アリ度
右電報中「アバリ」方面トハ「パタリナオ」ラロ附近ヲモ含ミ
揚搭作業ヲ遂行シウル限度ニ於テ廣範圍ニ解シ差支ナシ
但シ「バガオ」ハ臺灣轉進員ノ一時滞在等。

人

二二四
緊急

受信一四五八
譯始一五一五

譯了一六三五 電一一五二一 作概○



● ●
バ ヨ ン ボ ン 通 信 基 地
ツ ゲ ガ ラ オ 航 空 基 地

機密第二〇一一三二番電 其ノ三

發 G K F 參謀長

利用ハ差支ナキモ現情況ニ於テ增強部隊ノ配備地トシテハ適當ナラズ
ト認メアリ尙「アババグ」方面所在ノ海軍部隊ハ二月十四日以降地上
防衛ニ關シ一〇三師團長指揮下ニ入ラシメラレアリ複廓陣地ノ構築ニ
關シテハ同師團長ノ指揮ヲ受クル「バガオ」[?]方面[?]ヲモ含ミ準備ヲ進メ
置カレ度。

（電信課註 本電其ノ一二既配布）

通一三二六八 天一ヨラ十二（九一四下KC）高放 漆原（松山）

20. 2. 25

秀

人

二二二 受信〇五四〇 譯了〇六三五 電一〇三三二 作 概〇
 作戰特別緊急 始〇六二五

傍

聯合艦隊口・南西方面艦隊口。三南遣艦隊第一一移動通信隊

機密第二〇一二〇五番電

敵攻撃愈盛ナリ今夜相繼部隊ヲ以テスル果敢ナル切込ヲ決行スルト
 トモニ一部兵力ヲ以テ最後迄死守トントス。

通一一八五五 於一四(一〇二六五 KC) 五FGD 牛窪(新井)

20. 2. 22

人

作

緊急

二

二

受信 〇〇五五九

譯了 〇三一〇

電 〇九七四五

作概 〇

大海參一部・聯合艦隊口

一〇方面艦隊口・二南遣艦隊口 〇二二二 三二二

機密第二〇一七三〇 二二二

發 南西方面艦隊參謀長

第三十二特別根據地隊機密第一九二三五番電關聯

「サンタカン」配備第六震洋隊（現有約三五隻）配備派出ニ關シテ

ハ先ニ陸軍離集團ヨリ同部隊ノ指揮下ニ入り海軍側ニテ之ヲ「ブルネ

イ」ニ輸送サレ度旨協議アリ之ニ對シ陸軍ノ指揮下ニ入ルコトハ差支

ヘナキモ海軍ニテハ輸送ノ見込立タスト同答シテ當隊ノシテハ輸送

可能ナラバ艦隊口「タカシ」方面防備ニ充當スルヲ適當ト認メアリ

三特根意見ニ同意ナリ現在特根ヨリ移動内難ノ場合ハ現在補給通信共

通 一一三七二

呂二 一八（四）五七二五 KO 高二放

富田（金森）

陸軍ニ依存シアル點ヨリ陸軍ノ指揮下ニ入ルヲ可ト認ム
 尚之ニ
 關聯何レノ場合ニ於テモ現第三南遣艦隊作戰擔任區域ニ含まレアル北
 ボルネオ東北ノ一角ハ第二南遣艦隊又ハ第一南遣艦隊ノ擔任ニ變更
 (第三十二特別根據地隊「バタハツク」派遣隊ヲ含ム)ノ要アリト認

天

二二二 受信二三一五 譯了〇一一五 電一〇二八三 作 概

緊急

作

二五根戰團概報着信艦所

タバ才第一航空基地

機密第二〇一九三〇番電

H三AB戰團概報(二〇日)

一〇九〇〇一〇九一五P三八 二機第一飛行場投彈一一四〇一一二五八

B一四「バナカン」工作部舊宿舍地帯ニ投彈一五一〇一一五二〇P

三八 四機第二飛行場投彈

ニ戰果被害ナシ

三實動機天山零戰各一機。

通一一七三五 呂一?ラ十八(三七八二・五K)五FGBY通放

飯島(清塚)

20. 2. 22

作

作戰特別緊急

二

二〇

受信〇二〇六
開始二二二五

二二

〇九八五四

三五警備隊

兵B文作

備三庫概〇

三三根

三根△・三南道離隊口・南西方面艦隊口

一通報表示一 南西方面部隊情報着信艦所

機密第二〇一三四三番電

20. 2. 21

本日〇七三〇「サンベルナルチノ」派遣隊（ヒリ島）上陸用舟艇約
十隻來襲激撃セルモ〇九三〇遂ニ上陸敵機戦爆四雷爆撃一〇機銃爆
一一〇〇遂ニ連絡網ニ暗號書等々朝機ヲ失セズ焼却セリ。

通一一二六六

オ一三（四五七二、五八）高放山本（渡邊）



緊

急

二

二一

受信〇〇七五〇
譯始〇八三五

譯了〇九三〇

電〇九九〇五

航作
本〇

五基地

航空

部隊

戰闘

概報

着信

艦所

●

セ

航空

基地

機密第二〇一九五三番電

二月十六日ヨリ二十日迄ノセブ島方面敵機來襲及通過狀況

(イ) 十六日 F四U 一延四四機

來襲

「タイサイ」

陸軍施設

銃爆撃

十

九日 F四U 一三機

二十日 F四U 一

二機

來襲

飛行場

爆撃

戦果被害ナシ

(ロ) 通過機數延一五一機

(ハ) 十七日以後來襲通過機數著シク減少セルヲ認ム

二 明日實動機數保有機數組數三(三)一(二)

三 十九日零戦一機力ガヤンへ空中輸送ノ途次消息不明

通一一三三三

呂一B 〇一八(九一四五KG) 高放

安田(金森)

作

二二二 受信開始 〇〇一五〇〇 譯了 〇三〇五 電 〇九八一〇 作 概

緊急

二六根戰艦概報着信艦所。三南遣艦隊各口

機密第二〇二〇三五番電

六KB戰艦概報 二十日

一〇九〇〇PI四〇一八機ワシレ地區爆撃一七一〇スピットハイヤー

二カウ地區ニ〇九三〇PI三八二機一六二五單發三カウ灣地區偵察

戰果(陸軍)擊墜PI四〇二機擊破PI四〇五機被害ナシ

三艦船狀況タルバ入港一一四五a二出港一四〇〇a一針路東碇泊(一八

〇〇)T大型二中型一a四

三モロタイ島發進針路北乃至西大型二二中型一二小型一計三五

連一一二四七

呂一Bラー一八(六一二二五KC)(二一連 山下(藤田)

307

學知信
〇〇
五五
五三
九五

丁巳六月

九九八八二二七九

作
概

國
策

37

五 作戦部隊（南越作戦部隊）

ガムラン
空葬地

機密 二〇二三五八番 電三分ノ一、三

戰國策第三卷號二十日

ヒ九〇船團直衛〇八三〇ヨリ一六三〇迄延二機〇九〇〇「バダラン」岬

一四五度三、於テ油槽船一被雷炎上沈没直衛機ハ直ニ爆撃（六番二）

ト交戦一機大破沈没（搭乗員無事）一機海岸ニ不時着（三分ノ二未着以

下三分ノ三——二八「ダウエー」降ノ一九五八淫ニテ雷撃ヲ受ケルモ

九九六

天 一 B 4 四 (六二二五) 十

菅原
（庵原）
（一）

20. 2. 22

船圖異狀ナシ護衛艦ト協同推定敵潛位置ヲ攻撃（六番二）ナルモ効果不明
直ニ四機（内磁探機二）ヲ以テ掃蕩セルモ敵情ヲ得ズ船圖一六二〇一ナト
フル入港。